

小学校 第6学年 外国語科 学習指導案

北海道江別市立江別第二小学校
教諭 宮浦 匡典

単元名 Lesson 8 Junior High School Life (7時間)

**単元の
ねらい**

中学校でしたいことをしようかいるために、入りたい部活動や楽しみたい学校行事について、具体的な情報や大まかな内容(概要)を聞き取ったり、伝えあったり、話したりすることができる。また、中学校でしたいことに関する例文を参考にして、文を書くことができる。

**本時の
ねらい**

部活動や行事の言い方に慣れ親しむ。(第2時)


指導時期

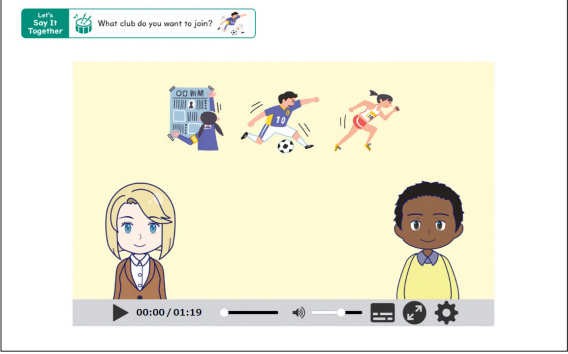



1月～2月頃




指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

本時では、「指導者用デジタル教科書(教材)」にある単語、語句、スクリプト等の音声を効果的に活用し、本時のねらいを達成することを目的としている。本教材の「絵カードじてん」には、音声をリピートするだけでなく、「モード」「カードの種類」「めくり速度」といった機能がある。これらを授業のねらいや児童の実態に応じて活用することで、丁寧な音声指導へとつながられる教材となっている。

本時(第2時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いて、コンテンツを起動する。 <p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常のあいさつ <p>(例)</p> <p>How are you? What day is it? What's the date today?</p>	

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
<p>導入 (10分)</p>	<p>Let's Say It Together 音声に合わせて発音する。 (前時のふりかえり)</p> <p>Small Talk (例) 中学校で入りたい部活動 (1) 教師のスマールトークを聞く。 (2) ペアや全体で内容の確認をする。 (3) もう一度教師のスマールトークを聞く。 (4) ペアでWhat club do you want to join? I want to join …のやりとりをする。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ● リズムに合わせてWhat club do you want to join? I want to join …をリピートし、言い方に慣れ親しむ。  <ul style="list-style-type: none"> ● 指導者はイラストの写真を指差しながらスマールトークを行う。
<p>展開 (30分)</p>	<p>Today's Goal</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;">部活動や行事の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>Let's Listen 1 ● 絵カードじてんを使って練習をする。</p> <p>(1) クイズ形式で What's this?という音声と同時に、ぼんやりとしたイラストが表示されるので、何のイラストか当てるクイズの活動を行う。</p> <p>(2) 正しい音声を聞いて リピートしながら練習し、音に慣れ親しむ。</p>	<p>絵カードじてん</p>   <ul style="list-style-type: none"> ● 授業のねらいや児童の実態に応じて、適切な「モード」「カードの種類」「めくる速度」「音声」「順番」を選択し実施する。 <p>(1) クイズ形式で 「Smiles ポケット」→「絵カードじてん」→「メニュー」→「クイズ」→「Lesson 8」→「Let's Listen 1」を選択しスタートを押す。</p> <p>(2) 正しい音声を聞いて 右下の「フラッシュカード」をクリックする。</p>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題①～③に取り組む。 (1) 「指導者用デジタル教科書(教材)」の問題①の音声を聞く。どんな音が聞こえてきたか尋ねた後に、もう一度音声を聞く。(一斉学習) (2) ペアでどんな音が聞こえてきたか話し合う。(協働学習) (3) 「Answer」をクリックし、答えを全体で確認する。(一斉学習) (4) 問題②、③も同様に繰り返す。 <p>Let's Listen 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 問題①～③に取り組む。 (1) 空欄にメモを取りながら、問題①の音声を聞く。どんなことをメモしたかを尋ねた後に、もう一度音声を聞く。(一斉学習) (2) ペアでどんな音が聞こえてきたかを確認、メモに書き足す。(協働学習) (3) 「Answer」を使いながら、答えを全体で確認する。(一斉学習) (4) 問題②、③も同様に繰り返す。 <p>Let's Read, Let's Write</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) Step1 音声を聞いて①②のどちらのイラストのこと言っているかを考え、答え合わせする。 (2) Step2 イラストが表す文を声に出して読む。文字を指でなぞりながら音声を聞く。2、3回繰り返す。 (3) Step3 なぞり書きをする。そのあと、4線に丁寧に書く。 	<p>問題①～③</p>  <p>問題①～③</p>  <p>Let's Read, Let's Write</p> 
	まとめ (5分)	<p>ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ふりかえりシートの記入 ● あいさつ

指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

本教材の「絵カードじてん」では、様々な方法でカードを提示することができる。例えば、「クイズ」では、What's this? という音声と同時に、ぼんやりとした絵カードが表示される。児童はそれを見て答えを言い、その後、音声モデルを聞いて繰り返し練習をする。このやりとりは、単なるリピートではなく、児童の思考力育成につながるものである。他にも、カードの種類では「絵のみ」「絵+文字」「文字のみ」、順番では「順番どおり」「ランダム」を選択することができる。「絵カードじてん」を使用することで、児童から答えを引き出し、気付きや思考を促す効果的な授業が展開できるよう工夫されている。